

# 市長マニフェスト 価格安定保障制度とは

坂本 好教 議員

部分を払拭するために、新規作物の収入の補償、そういう物につながるようなものを考えているが、今から検討する部分が多いと思う。

## 市の教育水準 教育長の捉え方は

**問** 筑後市の学力の水準は、また運動能力はどうか。

**教育長** 21年度の学力状況実態調査の結果から筑後市の児童、生徒の学力における水準は以下のような数値からおおむね良好だ。小学6年生の平均正答率を単純計算すると64・9%で国の平均正答率は63・5%、県が62%でいずれの科目も国

県を上回っている。

体力の問題だが、全国体力、運動能力、運動習慣等の調査の結果をみると学力と違い、小学校、中学校とも、国の平均を下回っている。

## 新幹線 「筑後船小屋駅」の 完成に向けて問う

**問** 新幹線筑後船小屋駅の観光情報発信施設の内容は、**商工観光課長** 5市2町で

進めている施設で場所は駅の2階で、展示スペースの広さが35㎡程度で、大型モニター、タッチパネルによる情報端末を設置。



新幹線「筑後船小屋駅」2階の観光情報発信施設予定箇所

# 地域福祉計画を策定し福祉の 推進を図るべき

佐藤 正利 議員

**問** 地域福祉計画は、平成12年社会福祉法の規定に位置付けられた計画である。

我が国においては、伝統的な家庭や地域の相互扶助機能は弱体化し、地域住民の社会的つながりも希薄化するなど、地域社会は変容しつつある。少子高齢化の到来、そして近年の深刻な経済不況がこれに追い打ちをかけている。このため市町村を中心とする福祉行政の役割は極めて重要である。

本市における校区コミュニティ構想は、一人ひとりを大切にする社会の実現を目指すもので地域福祉の在り方として大いに評価できる。今後、この校区コミュニティ構想が全市に拡大されることを鑑みれば、地域住民をはじめ関係者の理解と協力のもと、共助、互助による地域福祉の理念を共有し福祉の増進を図っていかなければならない。市は、地域福祉計画策定の考えはあるか。

**市長** 福祉のまちづくり条例に沿って取り組んでいる。政権交代で福祉制度が議論されている。今後検討したい。

## 高齢者憲章の 制定について

**問** わが国は、少子高齢化が進み虐待や孤独死など高齢者を取り巻く事件が後を絶たない大きな社会問題が

ある。市長はマニフェストで高齢者憲章の制定を述べているが、高齢社会対策基本構想となるものである。どのような社会づくりを指され、いつ頃までに制定するのか。

**市長** 高齢者が安心して暮らせるまちづくりを目指したい。  
**健康づくり課長** 今年度中に制定する予定である。

## 校区コミュニティ構想



校区コミュニティ構想

筑後市